

2014(平成 26)年 7 月 24 日

広陵町長 山村吉由 様

自治体キャラバン広陵町実行委員会

葛城北民主商工会

代表 麓 信二

新日本婦人の会広陵班

代表 下村 瑛子

健生会友の会広陵支部

代表 寺前 憲一

奈良県農民連広陵班

代表 新谷 好史

町議員 八尾 春雄

同 山田美津代

要 望 書

平素は住民の生活と安心安全のために何かとご尽力いただき厚くお礼申しあげます。

本年1月にいただいた“奈良県自治体キャラバン”的回答書から半年が過ぎ、検討される事項などの進捗状況などを再度お聞かせいただきたく山村町長のご都合が良い日と言うことで来る 8 月 1 日に“自治体キャラバン再要望”を開催させていただくものでございます。

大変ご多忙な中お時間を取って頂き大変感謝しております。尚、当日は口頭でのご回答を、8 月末までには文書によるご回答をお願いいたします。

記

(1)教育、子育て

- 1 6 月議会で県への“窓口負担なしの子ども医療費助成制度を求める”の意見書”は可決しました。全国では 36 県で窓口払いを廃止しており近畿では奈良県のみこの制度が残っています。これまでも指摘してきたように、3 割の窓口負担を行って後日指定口座に還付される仕組みとなっているため、給料日前になると当座の現金が不足して通院を断念するシングルマザーの声があります。町独自で一般会計からペナルティ分を繰り入れて窓口払いの撤廃を実施して早めの受診を促進するように改善して下さい。
- 2、文化財保存センター(歴史博物館)建設案への取り組みが進んでいると思いますが住民代表のお声を多く取り入れる手立てがいるのではないですか？予算規模はどのようにお考えですか？
- 3、放課後子ども育成教室の定員と時間帯の見直しで働くお母さんが正社員でも働けるように援助して下さい。回答では検討するとありましたがどのように改善されますか？
- 4、中学校給食は運営委員会での議論や視察など進み答申の準備が進んでいる状態です。議会でも方式による議論がされています。が町としては中学校でも小学校と同様に自校・直営の学校給食を実施して

下さい。また、地産地消の観点や栄養バランスを考慮した完全給食の実施で食育を進めるように希望します。実施に当たっては今でも多忙な教職員に新たな負担をかけぬように配膳員の確保等を行って下さい。平成23年12月に議会が採択したように、請願内容を実現できる充実した中学校給食を実施することが重要です。貴職の公約でもある自校方式実現のため、平成28年4月実施に向け教育委員会とも綿密に連携して進めて下さい。

- 5、 夏の酷暑時期には教室の温度が28度を確保できるように、クーラーの設置が必要です。
子ども達の健康のため又、学習意欲が低下しないよう一日も早く小、中学校へクーラーの設置を予算化してください。
- 6、 保育所の待機児童対策で2園で2部屋づつ増設されましたが、もうすでに待機児童が12名ほど出ています。1歳児を持つあるお母さんは生活が大変なため働きたいがどこも一杯と断られご実家の御所に1歳の子どもさんだけ住民票を移して御所の保育園に入園させて毎日送迎されて働いておられます。そのご苦労ははかり知れません。町は待機児童対策として来年は赤部に出来る社会福祉法人の保育所を頼りにされてると思われますが、待機児童解消の把握や対策をしっかりやって頂きたい。
ミニ開発による住民の移住は町の計画性が大事だと思います。町民に、特に弱い立場の人達にしわ寄せが来ないようお願いします。

(2)国保、医療、生活保護。

- 7、 国民健康保険制度の運用改善を求める。
回答では、国保財政は大変厳しい状況との認識では一致しています。問題はこの解決方法です。昨年の税の値上げは、赤字だからとの理由でしたが、黒字に転換していた、滞納者には厳しい取り立て、そして、市町村単位から県単一化にと、加入者の負担増で国保財政の危機を乗り切ろうとする政府の計画をどう見るのかではないでしょうか。低所得者が主体の国保制度にこれ以上の負担増を求めるることは、支払う限界を超えたものになってしまいます。この認識は一致できませんか。
- 8、 国民健康保険法第44条に基づく減免制度の活用を求めましたが、「現時点では適用がない、広報等で制度の周知を図る」と言っていますが、基準が厳しすぎます。生活保護基準との比較等からも基準を緩和・明確化して法の趣旨にかないます。生活困難な方への活用が出来るよう基準の見直しが必要です。
- 9、 定期健診の受診率引き上げについて、独自に検査項目を追加し、広報啓発活動などに取り組んでいくとのことでしたが、追加項目で受診率が改善していますか。町独自に思い切った追加項目や町外でもかかりつけ医の活用を積極的に行えるよう一層の改善が必要ではありませんか。
- 10、 国会で 医療、介護総合法案改悪がとおり、要支援1、2の介護保険外などが進む中で広陵町の高齢者をどの様に守っていかれますか？
- 11、 保険治療がなされていない高額の不妊治療への町の助成をお願いします。前町長は「広陵町で生む例が比較的少なく他市町村で生んでから転入が比較的多い」とコメントされていますが、若い人を引き付けるために検討をお願いします。
- 12、 乳がん検診のマンモグラフィが早期発見に有効ですが町内での受診者を増やす、手立てを考えてください。啓蒙と働きかけが大事ですか？ガン検診も3人に1人が今ガンにかかる人がいると統

計がでています。1人でも多くの方が検診を受けられるよう工夫をお願いします。人数も多くしてください。

13、生活保護に対する締め付けが厳しくなっていますが、医療券の発行や保護費の支給で自治体によつてまちまちです。県福祉事務所に対して、急患に備え、事後対応では不十分であり、ぜひ医療券の発行を実施するよう申し入れてください。また、支給の銀行振り込みについても、「不正の防止」を理由に挙げていますが、一部の悪質者を口実に「面談」を強要することは、人権に配慮を欠いたやり方です。「面談」は、隨時行えるわけですから、別の機会とすべきです。

(3) 交通

14、ますます交通弱者の方への援助が重要になっています。広陵町地域公共交通活性化協議会を再編と言っていますが、利用者や公募による委員を多数入れるべきです。

15、県道河合大和高田線の安全対策について、疋相からの要望のみを住民要望と認識しているようですが、町はこの県道の危険度をどのように認識されているのか。大字からの要望以外の安全対策は町の認識外とでも思っておられるのですか。町自身が安全対策を考え県に改良計画を作らせるべきです。県は、通学路にかかわる県道の安全対策を最優先に計画していますが、町民の命を守る県道の改良は一刻の猶予もない状況だと思います。町の対策も立て、県に強く道路改良計画を立てさせるべきではないでしょうか。

16、道路交通法が一部改正され、自転車の通行場所等の整備を検討するとのことですが、町独自の自転車道の整備は、町民の健康増進に不可欠の取り組みだと認識します。自転車は車道左側走行が原則ですが、歩道や右側走行が後を絶ちません。専用の自転車道路を整備して欲しいとの声があります。町内を循環できるルートも研究してください。町内での自転車事故が最近増えていて死亡事故も起きています。安全対策がいると思いますが検討されていますか？

17、奈良交通バスの路線減便で移動しにくくなったり廃止になるのではと不安な方が増えています。現在は定時定走行で予約不要の元気号を運行され、乗車定員増の改善も進めておられますが「待ち時間が長い」「近所を通るコースになっていない」の声も出ています。オーパワ閉店により買い物難民も出ています。そのためのコースや時間の見直しが今必要ではないでしょうか？また全町的な利用者及び利用希望者の声を把握するためのアンケートの実施をお考えですがいつされますか？議会が提案したデマンド乗合タクシーなどの実施もお考えですか？それと高齢者や足の悪い方のバスのご利用が増えていて乗り遅れないように早目にバス停まで行かれるため長いこと立って待つのがしんどく地べたに座り込んでおられる方が見受けられます。椅子を置ける停留所には置いて欲しいというご要望が多いのですが検討いただけますか？

(4) 農業振興、食の安全

18、日本の食料主権と食の安全を守り、農家の経営と暮らしを守るため、日本農業に壊滅的打撃を与える食の安全を危険にさらす TPP 参加を断念することを政府に強く働きかけてください。町民にも大きな悪影響を与えることは必至であり、”国策事項”と言って回避せず、町民の立場で考え行動してください。

19、農業の担い手確保と支援について

- (1) 町は農業の担い手確保のため新たな施策として「農業塾」の開講を決められたことを歓迎します。定員を確保できるように力を尽くすとともに、卒業者に農地の斡旋のみならず、新規就農者として定着できるように、農業倉庫や施設建設・農業機械の手当等への支援を実施してください。
- (2) 農業者への農業機械の購入費に対する補助や耕作放棄地の解消事業など国、県と連携し、各種事業に取り組んでいるとの回答がありましたが、実績はいかがですか。
- (3) 農産物の売り先の確保、販路の拡大が大きな課題になっています。農産物の「広陵町ブランド」づくりの取組状況を教えて下さい。

20、食とエネルギーの地産地消と地域循環を進めるための支援

- (1) 学校給食への地場産農産物(町内産及び県内産)の利用が後退していると聞きましたが、現状と問題点、平成27年度までに国の第2次食育推進基本計画の目標数値(30%)を達成するための施策について伺います。私たち農業者、生産出荷団体に協力できることはありますか。
- (2) 農家が運営する直売所、朝市などへの具体的支援として、定期的に町内直売所マップを作成して町HPや広報でPRできるように検討していくとの回答がありましたが、まだ実施されていないのではないかですか。今後の計画は?

21、食の安全を確保するため、せめて学校給食食材の放射能、残留農薬測定を定期的に行い町HPなどで情報公開して欲しいとの要望に対して、「県内での放射能測定において、水道水、原乳、精米から放射能物質は検出されていない。また、残留農薬測定は定期的に実施している」との回答がありましたが、町民にわかるように公開されていないのは何故ですか?ぜひ測定ごとにデータの公開をしてください。

(5) 防災、教科書、自衛隊基地問題

- 22、広陵町における東海・東南海・南海地震における防災計画で防災無線の実態は?今後の計画は?水、食料、毛布など何人分を確保されていますか?自治会の防災倉庫は全自治会設置が完了しているのか?そこへの食糧などの補助はどのようになっていますか?
- 23、今年は小学校の教科書採択年度で、図書館において閲覧が行われていましたが教科書は、現場の先生方の研究・意見を踏まえて選定して下さい。さらに図書館で閲覧するのに専用のコーナーも案内もありません。改善して下さい。また北葛城郡4町で1か所の閲覧場所というのは不十分です。北葛城郡全中学校に(現場の先生方に)教科書を届けて選考するようにして下さい。
- 24、県知事が「奈良にも自衛隊基地を誘致したい」などの発言があり、唯一基地の無い奈良県にも基地誘致の動きがあります。基地があるとオスプレイが奈良県上空を飛行したり爆音や訓練機の墜落の恐れなどが考えられます。この自衛隊基地配備中止と飛行訓練反対を表明し県にはたらきかけて下さい。広陵町の上空が飛行訓練場になってしまわないか心配です。

(6) 暮らしやすい広陵町に

- 25、中央公民館(かぐや姫ホール)・中央体育館・付属体育館の誘導案内板(例えば、横峰公園北側道路から真美ヶ丘体育館への右左折表示が必要です)などの設置を再検討されるとの回答がありました。どのように見直されいつ頃実現しますか。

26、ごみ袋の無料化を是非検討ください。また、破れやすいので2重にしたり大変です。改良をお願いします。高齢者の分別やゴミだし対策なども対策がいるのではないか？年1回はクリーンセンターの運営やゴミ分別の研修会を大字・丁目単位で開催してほしい。新たに転入してこられた方の協力も得やすくなるし、職員の研修にもなります。この回答では「実際みていただくのがご理解いただく最善の方法と考えています。とありますが見学を申込みください」になっていて積極的に改善する考えが見えない。もっと町側から積極的に働きかける必要があるのではないか？

(7)商工問題

28、地域経済と中小企業の振興と活性化のため「中小企業振興基本条例」(仮称)をつくる下さい。この回答で、「商工会と連携して、中小企業の活性化を図る施策を講じて参ります」とありますが、どの様に話し合われましたか？

29、住宅リフォーム助成制度の充実への回答は今後の景気等を踏まえて検討するとありました。検討された結果を教えてください。

以上